

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 30 年 8 月分【護岸建設工事中調査②】)

【海域生態系】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 3
- 3. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 海域生態系(底生生物) II-1

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 8 月（海域生態系(底生生物)の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1 事後調査の概要（平成 30 年 8 月）

埋立地周辺における調査

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
底生生物	4地点 【2、3、4、5】	8月7日	2回/年（8、2月）

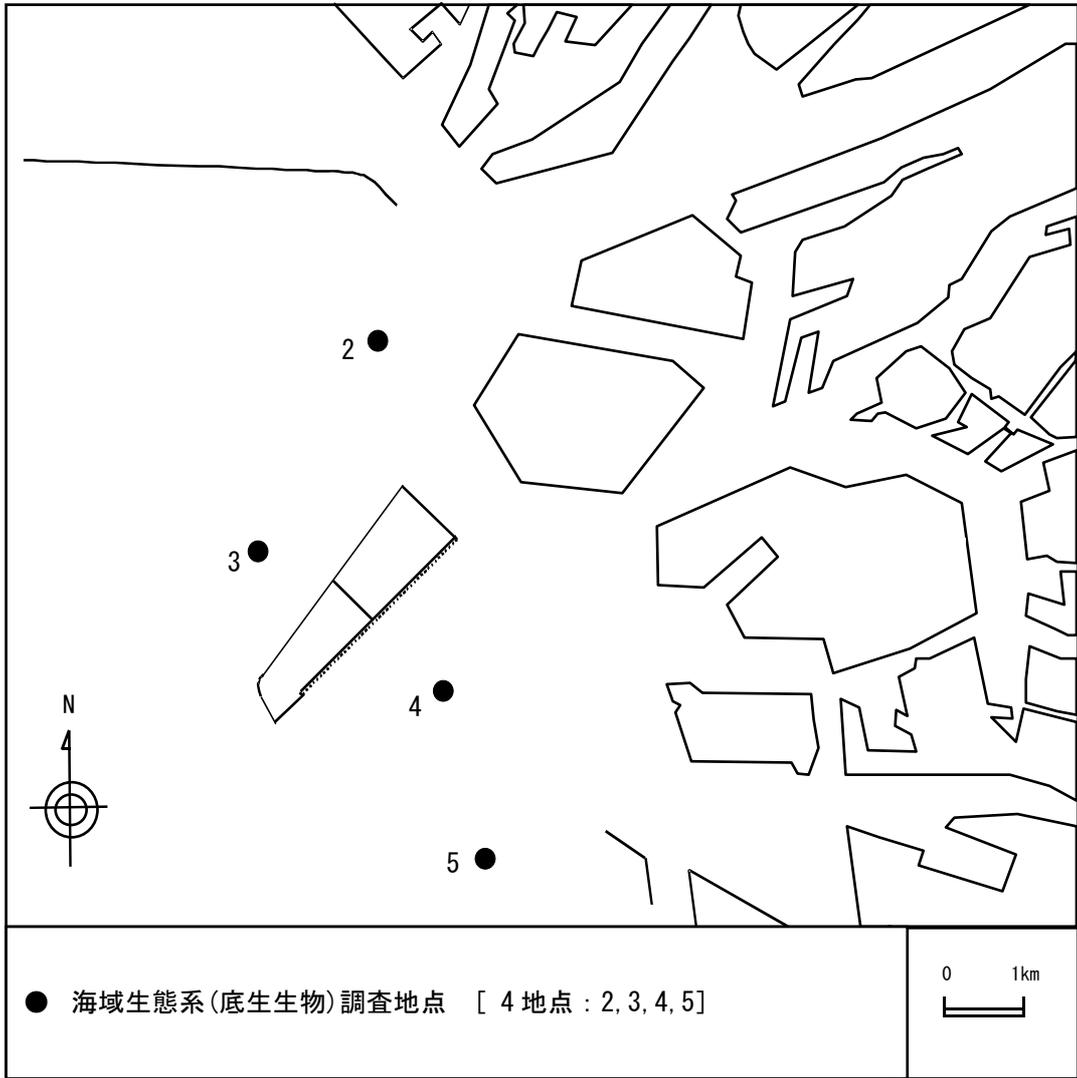


図-1 海域生態系(底生生物)調査地点(平成 30 年 8 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 海域生態系 (底生生物) [海域生態系様式第3号]

底生生物の地点別出現種類数は3～7種類、個体数は5～111個体/0.1 m²、湿重量は0.04～1.34g/0.1 m²の範囲にあり、主な出現種はシブハネラスピオであり、シブハネラスピオは全ての調査地点で優占した。

II 事後調查結果

底生生物調査結果 (1) [平成30年 8月分]

調査日：平成30年 8月 7日

項目		調査点		
		2	3	4
泥温 [°C]		24.0	23.0	23.2
種類数	軟体動物門			
	環形動物門	7	3	4
	節足動物門			
	その他			
合計		7	3	4
個体数	軟体動物門			
	環形動物門	79	5	29
	節足動物門			
	その他			
合計		79	5	29
個体数 組成比 [%]	軟体動物門			
	環形動物門	100.0	100.0	100.0
	節足動物門			
	その他			
合計		100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門			
	環形動物門	1.25	0.04	0.11
	節足動物門			
	その他			
合計		1.25	0.04	0.11
主要種 個体数[%]	シノブハネエラスピオ 63 [79.7]	カタマカリギホシイソメ 3 [60.0] コノハシロカネコカイ 1 [20.0] シノブハネエラスピオ 1 [20.0]	シノブハネエラスピオ 24 [82.8]	

注) 1. 個体数、湿重量は0.1m²当りで示す。

2. 主要種は各測点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

底生生物調査結果(2) [平成30年 8月分]

調査日：平成30年 8月 7日

項目		調査点 5	平均
泥温 [°C]		24.5	23.7
種類数 ^{注1)}	軟体動物門		
	環形動物門	4	8
	節足動物門		
	その他	2	2
	合計	6	10
個体数	軟体動物門		
	環形動物門	109	56
	節足動物門		
	その他	2	1
	合計	111	56
個体数 組成比 [%]	軟体動物門		
	環形動物門	98.2	99.5
	節足動物門		
	その他	1.8	0.5
	合計	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門		
	環形動物門	0.47	0.47
	節足動物門		
	その他	0.87	0.22
	合計	1.34	0.69
主要種 個体数[%]	シノブハネエラスピ [°] オ 94 [84.7]	シノブハネエラスピ [°] オ 46 [81.3]	

注) 1. 種類数の平均は、総種類数を示す。

2. 個体数、湿重量は0.1m²当り以示す。

3. 主要種は各測点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。